

ぬまっこ 号外

～ 笑 顔 ～

令和7年2月5日

発行者

校長 三浦 了二

2月校長講話

2月4日の朝会では、2日が「節分」3日が「立春」だったこともあり、「二十四節気」の話をしました。「春」「夏」「秋」「冬」の4つの季節をさらに6つの区分にわけ、その時々気候・季節について節気で分けられている話をしました。

1年の始まりが「立春」、そして「雨水」次に「啓蟄」「春分」「清明」「穀雨」と春の節気が続いていきます。暦の上では「春」となりましたが、校庭を見てみると寒波の影響で雪が積もっています。本格的な春はまだ遠いようですが、4月5日「清明」の頃には、子供たちも、そして、校庭の木々も生き生きとしてくると思います。寒い冬を健康安全に気を付けてしっかりと過ごすことで、充実した春を迎えられます。

学年のまとめの時期になりますが、今の学年ですべきことにしっかりと取り組めるよう教職員一同、指導・支援してまいります。



Web 長縄跳びにチャレンジ中

宮城県教育委員会が実施している「Web 長縄跳び大会」に、多くの学年がチャレンジしています。この大会は「長縄8の字跳び」の回数をWeb上で県内の小学校と競い合うものです。

大崎市でも、この大会の記録で「大崎市教育長杯」を同時開催しており、市内の学校で記録を競い合っています。

本校でも、上位入賞はもちろんですが、自分たちの記録更新に向けて、クラスで声を掛け合いながら取り組んでいます。

取組の様子を見ていると、上手に跳べなかった子が跳べるようになったり、連続で入れなかった子が連続で入れるようになったりするたびに、クラス全体で喜び合っている姿がみられ、とても嬉しくなりました。また、跳ぶだけでなく、「回し手」の役割をしてくれている子も記録を向上させる大切な役割で、一生懸命回している姿が素晴らしいと思います。大会は2月14日までで、期間もわずかとなりましたが学級新記録が出せるように、クラスで声を掛け合い、協力しあいながら取り組んでほしいと思います。

